

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	市民文化スポーツ局スポーツ部 スポーツ振興課
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立桃園市民プール等 6スポーツ施設	施設類型	目的・機能
	所在地	八幡東区桃園三丁目1番6号等		
	設置目的	スポーツの普及及び振興を図り、市民の心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の形成に資する		
利用料金制	非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制			
	インセンティブ制 有・ <input type="checkbox"/> 無		ペナルティ制 有・ <input type="checkbox"/> 無	
指定管理者	名 称	スピナ・シンコースポーツ共同事業体		
	所在地	八幡東区平野二丁目1番1号		
指定管理業務の内容	1 管理運営に関する業務 ・受付、使用許可に関する業務（利用調整、許可に係る業務） ・清掃、警備、建物等保守点検業務 2 その他管理運営業務 ・事業計画書及び収支計画書の提出 ・関係機関との連絡調整 ・地域や類似施設との連携に関する業務 3 利用促進に関する業務 ・イベントや広報活動等による利用促進など 4 自主事業 ・市民のスポーツ振興に資する事業（スポーツ教室等）等の実施など			
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日			

(2) 利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

【施設利用について】

満足度	R2年度	R3年度	R4年度
目標値	90.0%以上	91.0%以上	92.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	97.7% (49.1%・48.6%)	98.5% (58.7%・39.8%)	99.4% (56.1%・43.3%)

【職員対応について】

満足度	R2年度	R3年度	R4年度
目標値	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	98.4% (50.0%・48.4%)	98.1% (61.7%・36.4%)	99.1% (70.9%・28.2%)

※ ・・・評価対象年度

- ・施設利用について、「とても良かった・良かった」の評価が99.4%で、職員対応について、「とても良かった・良かった」が99.1%となり高い満足度を得ている。
- ・利用者からの意見等に対して、各施設の「お客様の声 掲示板」で迅速に回答し、改善を図ってきたことが評価されたものとする。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

【所見】

維持管理経費

(単位：円)

区分	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	前年度比較
委託料	7,215,080	4,728,593	7,958,170	7,833,400	▲124,770
修繕費	11,422,897	8,350,999	4,515,998	5,657,364	1,141,366
光熱水費	19,779,744	72,354,537	86,629,002	118,074,107	31,445,105
人件費	65,349,029	103,491,894	108,382,055	95,686,803	▲12,695,252
その他経費	2,664,921	4,605,944	4,690,892	6,482,046	1,791,154
合計	106,431,671	193,531,967	212,176,117	233,733,720	21,557,603

※ . . . 評価対象年度

- ・維持管理経費は前年度比で21,558千円の増加となった。
主な要因はガス料金・電気料金の値上げによるものと考えられる。
- ・軽微な補修等は自社対応する等、経費削減に取り組んだ。

(2) 収入の増加

- ① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

【所見】

【施設使用料収入】

(単位：円)

区分	【参考】 R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	前年度比較
プール(1)	9,706,623	18,222,663	16,219,886	17,191,439	971,553
庭球場(1)	8,933,103	10,223,668	7,314,858	8,622,043	1,307,185
野球場(2)	2,645,028	2,513,361	1,807,009	2,679,685	872,676
弓道場(1)	599,470	301,100	284,890	0	▲284,890
運動場(1)	2,733,450	2,330,990	1,874,230	2,163,140	288,910
合計	24,617,674	33,591,782	27,500,873	30,656,307	3,155,434

※ . . . 評価対象年度

- ・使用料収入は前年度比で3,155千円の増加となった。
- ・主な要因として新型コロナによる臨時休業がなかったこと等が考えられる。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

[所 見]

- ・スポーツ施設の管理運営経験者を適正配置し、専門的な知識・技術を共有することで、職員全体の資質の向上、標準化に努めている。
- ・施設運営に関する“衛生管理責任者講習会”、“防火管理者講習会”、“芝管理講習会”等の各種講習に参加し、職員の資質向上に努めている。
- ・学校部活動や幼稚園児の水遊び、海上保安庁の水泳訓練等でも施設を活用し、地域団体との連携強化に努めている。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報保護するための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

[所 見]

- ・コンプライアンス活動を通じて「個人情報取扱い」等を含めた教育の実施や「西鉄グループコンプライアンス通信」の定期配信を行い、適切な対策が取られている。
- ・施設の公共性・公平性を担保していく為に「条例に基づいた運営」を心がけ、利用者の平等利用に努めている。
- ・スピナ本社の管理スタッフによる「職場安全パトロール」や定期パトロール、また、施設間の事故事例や未然の防止策等の情報の共有化を図っている。
- ・プール運営管理マニュアルに基づき全スタッフを教育し、事故発生時にも的確な対応ができるよう備えている。

【総合評価】

[所 見]

- ・利用者数は前年度より 93 千人、使用料収入は 3,155 千円増加した。
- ・施設利用、職員対応ともに 99.0%以上の高い満足度を得られている。
- ・スポーツ施設管理経験者の適正配置、各種講習会への参加等、スタッフの資質向上に努めている。

[今後の対応]

- ・今後もスタッフの資質向上・育成に積極的に取り組み、利用者に満足していただけるよう運営してもらいたい。

